

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	発酵食品をより味わい深く嗜む御酒飲 ^{ごしゅいん} ラリー
事業主体 (連絡先)	佐久商工会議所 (長野県佐久市中込 2976-4 TEL0267-62-2520)
事業区分	(6) オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,813,059 円 (うち支援金: 1,933,000 円)

事業内容

日本酒をはじめとする発酵食品を活用した“伝統的発酵食文化”の発信を目的に以下の事業を実施した。

《醸 Kamosu 2017》

実施目的: 貞祥寺で、佐久地域の食、農、芸術、デザイン、歴史等トータルカルチャーを融和体験する

実施日時: 10月8日(日)・9日(月)10時~19時30分

実施内容: 利き酒講座「酒塾」、39BAR(食事)、発酵食品・食材マーケット、音楽 他

《御酒飲ラリー》

目的内容: 酒類を飲むと御酒印シールがもらえ、ラリーのように集める事で景品があたる。酒類の普及促進と、飲食店の活性化を目的とした。

実施日: 11月11日(土)~1月31日(水)

参加店舗: 45店 (昨年対+12店)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

《醸 Kamosu 2017》

- ・来場者数: 約 600 人
- ・秋のひやおろし 52 本、日本酒カクテル 230 杯
- ・発行食材を使ったランチボックス: 計 300 食完売
- ・その他物販など: 酒粕マカロン 100 個、ディナー 40 席、コーヒー330 杯、マルシェ(市)物販販売

《御酒飲ラリー》

- ・スタンプラリー景品の計 80 セットはほぼ終了。約 3 ヶ月の実施で延べ 2,200 人超の市民が参加した。
- ・信毎、CATV、会議所ニュースなど多くのメディア・報道機関が興味を示し放送・掲載をした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・佐久は日本酒やクラフトビールなど酒処で美味しい酒を作っているにも関わらず、全国的な知名度は低いので、佐久で始めた本イベントを先ずは県下に広げていく。各地の商工会議所や飲食店・醸造会社と本イベントで連携ができれば、観光客などが飲食店を巡ることで県内滞在時間が長くなり、地域を超えて経済波及効果を相互補完できる。さらに、長野県だけの取組みとして他県との差別化がはかれ、日本酒やクラフトビール、ワインなど長野県を代表する酒類を全国へ向けた発信へとつながり、延いては酒類の知名度アップにつながる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【醸 kamosu 貞祥寺にて】

【目標・ねらい】

- ①発酵食品・食材の普及・発信
- ②飲食店や酒販店、醸造会社の支援
- ③地域外からの誘客
- ④メディア・報道機関を通じた PR

※自己評価 【A】

【理由】

佐久地域の発酵食品・食材のポテンシャルの高さを文化と融合した手法でターゲットを絞った発信・事業をし、地域の活性化につながる効果をあげることができた。